限りなき前進（1937）

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 B&W
時間 99分
初公開日 1937/11/03

【解説】
小津安二郎の原作「愉しき哉保吉君」を、八木保太郎が脚色し内田吐夢が監督した。小津は当初この作品を喜劇として撮ろうとしたが、内田は深刻かつ不条理にとらえた。作品は内田の抑留中に改変され、本人が帰国後に手を入れた改編版のみが残っているという。
52歳のサラリーマン野々宮保吉は、建築中の新居が物価高騰のあおりを受けて工事が進まず、大工から追加の費用が必要と言われる。野々宮は65歳の定年までの出費計画を立てていたが、勤務先の定年が55歳に変更となってしまった。大量の酒を飲み倒れ込んだ野々宮は、自分が定年と無関係の部長に昇進し、新居が完成し、娘が無事に結婚する夢を見た。目を覚ました野々宮はいつもどおり出勤するが、部長の席に座り仕事を始めてしまう…。

【クレジット】
監督 内田吐夢
原作 小津安二郎
脚本 八木保太郎
撮影 碧川道夫
音楽 山田栄一
出演 小杉勇
滝花久子
轟夕起子
片山明彦
江川宇礼雄
紅沢葉子
飛田喜佐夫
見明凡太郎
菊池良一
中村英雄
加藤章
上代勇吉
東勇治
西春彦
北龍二
鈴木三右衛門
潮万太郎
寺井郁男
小森鈴子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.